

# 32fes2019 ENDURANCE RACE 規則書

## ピット・パドックについて（耐久）

### ピットレーン制限速度

- ピットレーンを走行する競技車両の制限速度は、40km とします。  
速度超過の場合は、ペナルティの対象になります。

### ピットレーン進入

- ピットレーンへの進入は右ウインカーを点滅させ、ピットレーン入り口より進入します。  
本コースからイエローラインカット(ホワイトラインカット含め)はペナルティの対象になります。
- ピットレーンは一方通行です。バックをすることができません。(バックが必要な際は人力で押してください) リバースギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合は、そのチームは失格となります。
- ピットロードを走行する際は、コース寄り走行路を走行してください。  
ピットゾーンへの進入の場合、ピットに最も近い部分からピットゾーンへ向かってください。
- ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、傘等を使用することはできません。
- ピットレーン・サインガード付近ではお子様に十分ご注意ください。
- サインガードではお子様の立ち入りを禁止する場合がございますので、ご了承ください。
- ピットレーン・サインガードはペット立ち入り禁止とします。

### ピットアウト

- ピットアウトの際は、ピットエンドにいるオフィシャルに従ってください。ピットアウトして、コースへ進入した時の第一コーナーは、必ずインコースで走行してください。
- ピットアウト時、エンジンの押しがけはできません。
- エンジンが始動しない場合、押しがけはできません。  
バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動させてください。

### ピット内

- ピットは基本的に共有です。譲り合いながら、使用してください。
- ピット内において、高音、高熱を発生する機器の使用は禁止します。
- ピット内は**禁煙**です。(火気厳禁) 喫煙は所定の喫煙スペースをお願いします。

### ピット内作業

- スペアタイヤの本数制限はありません。
- 競技中のエンジンの積み換えは自由、その際は大会事務局へ届け出てください。  
エンジン換装の場合、同排気量以下、同チューニング仕様以下のものであれば可能です。
- 消耗品の交換自由。他車に注意し、安全を確保した上で作業を行ってください。
- 作業をする場合は、監視員を設定してください。この場合、監視員は4名とします。  
ただし、監視員は車両やドライバーに触れることを含め、一切の作業はできません。
- ライトのバルブ、ジェット、プラグ等のスペアパーツの用意をおすすめします。  
ウエスやキャブクリーナー等もあると便利です。

### 無線機

- 無線機の使用は可能ですが、使用の際は無線免許保持者のみとし、無線使用と周波数を事務局へ必ず届け出てください。他チームと周波数が重なった場合は、周波数変更をお願いする場合があります。

### パドック

- パドック内で、車両テスト（ブレーキテストやウォームアップなど）は絶対に行わないでください。

## グリッド及びスタートについて（耐久及びスプリント）

- スタートグリッドは、各クラスの予選結果で決定します。
- グリッド整列時には、チームスタッフのご協力をお願いします。

### スタート方法（耐久及びスプリント）

- グリッドスタート決勝の出走時間になりましたらピットロードからコースインしていただき、グリッドに向かいます。グリッドに向かう走行がフォーメーションラップとします。
- グリッドにつきましたら、エンジンを切らず、ボード表示に従って決勝スタートが開始します。
- ドライバーズブリーフィングには必ず出席ください。

## 車両について（耐久及びスプリント）

### 車両装備（クラス分けや車両規定については別事項で確認してください）

- 3点式以上のロールゲージの装備を強く推奨します。
- シートベルトは4点式以上のフルハーネス装着義務になります。
- 内容量1.5kg以上の消火器を車載する事を強く推奨します。
- 燃料タンクを改造、変更する場合は、安全タンクへの変更のみ可です。  
その際、タンクスペースは、コックピットと必ず隔離してください。
- 前後に牽引フックを必ず装備してください。装備されていない場合は、車体部分で牽引する場合がありますので、車両にキズや損傷を与える場合があります。ご了承ください。
- 競技参加に対して、適正な整備がされた車輛である事。オイル、クーラント、その他液体の漏れ等無いよう特に注意してください。
- ノーマルタンク車はガソリンの吹き出しが考えられますので、ガソリン給油口を、ビニールテープで巻くなど処置を行ってください。
- 雨や霧など視界不良の場合、ライトオンの指示が出ます。ヘッドライト、その他灯火類は必ず点灯するよう、整備をしてください。また、ヘッドライトの同時点灯は2灯までです。フォグランプ等の補助灯を使用する場合は2灯までとし、ヘッドライトと合わせて4灯までです。

### 車両検査

- 車両検査は出張車検で行ないます。
- ライト類のテーピングは、ライトリムまでビニールテープをかけるようにしてください。  
ホイールのバルンサー、バッテリーのプラス端子、各フルードのふたにはテーピングをしてください。
- 計測器（トランスポンダー）は、指定の個所にビニールテープ等で、確実に取付けてください。  
計測器の破損、紛失の場合は実費をいただきますのでご注意下さい

## ドライビングについて（耐久）

### ドライバー数

- ドライバーは1チーム2名以上、登録されたドライバーは必ず乗車してください。ドライバーの変更の届け出がなく、乗車ドライバーの変更を行なった場合、失格となりますのでご注意ください。  
変更届けは、右隣のチーム及び事務局へお願いします。

### ドライバーチェンジ

- ドライバーチェンジの際、ピットではエンジンを完全に停止させてください。ドライバーチェンジの際、ピットエリアに出て、窓拭き、エアーチェック等が行なえる作業員の数は、交代するドライバーを含め4名までとします。

### 乗車時間

- 1ドライバーの連続乗車時間は、最低15分以上とする。

## マフラー音量について（耐久＋スプリント）

- 全ての車輛に、直管は認めません。消音器は必ず装着してください。
- 音量は、後方排気マフラー出口より直線3mの地点で、マフラー出口に対し上左右45度の位置でMAXパワーの70%時に105dbを目安とします。
- 消音器が破損し、スペアへの交換できない場合、失格となる場合があります。  
この判断はサーキットによります。

## 給油について（耐久）

- 耐久レース中の給油作業はできません。

## ドライバーの資格（耐久＋スプリント）

### ドライバーとしての心得

- ドライバーは普通運転免許証保持している方、JAF A・Bライセンス、サーキットライセンス等は一切必要ありません。
- ドライバーブリーフィングには、登録ドライバー自身が必ず出席してください。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、必要な項目が含まれます。不参加の場合、出走を取り消しになる場合がありますのでご注意ください。
- 体調が優れない等の場合は、無理はせず、リタイアをする勇気を持つことが、大切です。
- ドライバーはフラッグの色と意味を、記憶、理解していることが必要です。フラッグの色と意味を記憶、理解されていない方の走行はお受けすることが出来ません。

### 服装

- ドライバーの服装は、綿100%の長そで、長ズボン、指先までおおうグローブ、ヘルメット、運動靴が最低条件です。2レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズを強く推奨します。

## チーム名登録、耐久ゼッケン登録について（耐久）

### 登録

- 各クラスは先着順で希望のゼッケンナンバー、チーム名を登録することが出来ます。
- 希望のゼッケンナンバー、チーム名がすでに登録されている場合は、他のナンバー、チーム名に変更していただくことがあります。

### ゼッケン製作

- 登録ゼッケンはご自身の製作となります。事務局では用意しませんので、ご注意ください。
- ゼッケン製作をする場合は、縦50cm以上、横50cm以上のゼッケンサークル内に納め、その中で可読性を考慮した上で、最大の大きさの算数字を用意してください。算数字の太さは3cm以上でお願いします。

## 参加確認受付と計測器について（耐久）

### 受付（当日）

- エントラントは事務局受付で受付を済ませてください。

### 計測器

- 受付の際、計測器を必ずお受け取り下さい。
- 競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。
- 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費をいただきご注意ください。

## ハンディタイムについて（耐久）

- 1000N ピットストップ 40秒×2回
- 1000T ピットストップ 1分30秒×2回
- 1300N ピットストップ 1分30秒×2回
- 1300LT ピットストップ 2分×2回
- 1300T ピットストップ 4分×2回
- 1300OPEN ピットストップ 5分×2回

## ペナルティについて（耐久＋スプリント）

- 危険走行とみなされたドライバーには、ペナルティフラッグを確認してください。フラッグを3ラップ無視した場合は失格になります。

### ペナルティ項目

- 走行中、オイルの吹き出しなどでコースを汚す等、競技の中断をはじめ、競技に影響を与えた場合。
- 車輛異常、コースアウト、接触など、競技の中断をはじめ、競技に影響を与えた場合。
- フラッグ無視、または気がつかなかった場合、ダブルチェッカーを受けた場合。
- 危険走行とオフィシャルが判断したドライバーもペナルティの対象となる場合があります。
- その他、本規則書に設定されたものに違反した場合は適用します。

## 表彰式について

- 表彰は、1位から3位までトロフィーにより表彰します。
- 表彰は、各クラス25日曜日に富士スピードウェイ常設表彰台で行います。

## 保険について

- 競技にご参加の全ての方への、保険加入を強く奨めます（ドライバー、ピットクルー、メカニック、応援の方等パドックへいる方全員です）。
- 保険へ加入される場合は、チーム単位ではなく、個人でそれぞれ申し込みをしてください。
- パドック、コース上において人身、および死亡事故が起ってしまった場合、金銭等をお出しすることができません。ご理解の上、各自の責任において、ご参加をお願い致します。

## その他注意事項について

- 車輦より降ろした荷物などは、各自で管理してください。盗難、紛失の場合、事務局およびオフィシャルでは責任を負えません。
- パドック内やコース上において人身事故、および物損事故についても、事務局およびオフィシャルでは責任を負えません。
- パドックやピットレーンにはエンタラントの応援の方や、小さなお子様もいらっしゃいます。ピットレーンでは制限速度を厳守し、パドックでは最徐行を心がけてください。
- お帰りの際はゼッケンを外し、ゴミなどはゴミ箱へ捨てるようご協力をおねがいたします。
- 自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。